



通信衛星 JCSAT-3A を経由し、4K HDR 映像の伝送を実施 11月18日(水)～20日(金)開催の Inter BEE 会場で受信映像を展示

スカパーJSAT 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治、以下スカパーJSAT)は、自社の保有する通信衛星 JCSAT-3A を使用して、4K HDR 映像の伝送を実施することを決定しました。この伝送する 4K HDR 映像は、2015年11月18日(水)から20日(金)に幕張メッセで開催される『Inter BEE』会場にて受信映像を協力先メーカーの出展ブースで展示いたします。

今回、スカパーJSAT が行う 4K HDR 映像伝送は、スカパー東京メディアセンター(以下TMC)から既存の設備を利用して通信衛星 JCSAT-3A に向けてアップリンクし、『Inter BEE』の会場で受信いたします。受信する映像は、これまでにスカパーJSAT が収録を行った各種の HDR 映像や、TMC 内のスタジオからのライブ伝送映像となる予定です。

伝送する映像の 4K HDR 形式は、「Hybrid Log-Gamma (ハイブリッドログガンマ・HLG)」方式で、日本放送協会(NHK)と英国放送協会(BBC)が開発し一般社団法人電波産業会(ARIB)で標準化されたものを使用します。

この 4K HDR 映像伝送は、スカパー!プレミアムサービスに使用している通信衛星 JCSAT-3A を使用し、TMC からのアップリンクとなります。既存の送信設備や受信システムを活用して 4K HDR 映像伝送を行うことで、新たな技術による画質向上や新しい映像規格についてより発展するための機会となることを期待しています。

スカパーJSAT がお届けする多チャンネル放送サービスの「スカパー!」では、世界初の 4K 商用放送の開始など、常に新しい放送への取り組みを進めております。今後も、スカパーJSAT は、常に進化する放送技術をいち早く実現することを目指して様々な取り組みを進めてまいります。

以上

【HDR とは】

『High Dynamic Range : ハイ・ダイナミック・レンジ』の略。

ハイビジョン等の現行放送のダイナミックレンジ（明るい部分と暗い部分の明るさの対比）よりも広く撮影・記録・再生できる映像技術。

視覚のダイナミックレンジに近くなるため、今までより自然で臨場感のある映像が期待できる。

【実施概要】

- 案件 スカパーJSAT 4K HDR 映像伝送
- 期間 2015年11月18日（水）～11月20日（金）の3日間
- 受信場所 Inter BEE 2015 出展予定の各社展示ブース（以下、順不同）
ソニー(株)/ソニービジネスソリューション(株)
(株)東芝
アストロデザイン(株)
共信コミュニケーションズ(株)
- 伝送内容 ①収録済み4K HDR映像（サッカー、SUPERGT、音楽ライブ、風景等）
②TMCスタジオからのライブ伝送
- 4K HDR形式 「Hybrid Log-Gamma（ハイブリッドログガンマ・HLG）」方式
- 伝送使用機材 撮影機材：PMW-F55（カメラ）
HDR信号出力：S-Log→HLG1.2変換器
HDR波形確認：WM-3206/HDR
HDR編集：SGO MISTIKA
- 伝送概要

